新潟大学国際センター紀要　第７号　166 - 173，2011年　Journal of the International Exchange Support Center
2011, Vol. 7: 166 - 173, Niigata University

新方式「HSK受験対策講座」における総括
―2010年度調査結果―

A Survey Report of HSK 2011

藤田　益子*

１．総括

国際センター主催による「HSK受験対策講座」は、今年で７回目をむかえた。今年度講師として招聘したのは、北京大学対外漢語教育学院の銭旭菁、李海燕教授である。いずれも、HSKを含む中国語教育のエキスパートであり、学生からの評価にも定評がある。銭教授はこの講義に関しては２度目の来校である。

今年のこれまでとの最大の違いは、２年前から実施されている新方式でのHSKに関する受験対策の集中講義を全国に先駆けて実施したことである。新HSKの変革の概要や対策のポイントについては、講義を担当していただいた両先生による公開講座の講演内容を、本書に掲載したのでご参照いただきたい。

今年の受講生は20名の限定とし、事前の申込みの時点で一部の学生には受講条件に合わないとして受講を断らざるをえなかった。受講前にクラス分け試験は行わず、学習歴と中国語検定試験の取得級、面接などによって、中級14名、初級７名に振り分けた。

初めて新方式でのHSKの講義を行うため、級とクラスのレベル設定には頭を痛めたが、学生個人の中国語検定試験の取得級から学力を割り出し、最終的に、初級クラスには２から４級レベルを、中級クラスには３級から６級レベルの予習教材を配布しておき、実際に講義を行ってみて、各クラスに一番合う級を１つ選んでレベルを設定する予定であった。

しかし、中級クラスは人数が多いことからレベルに幅があり、１つの級に絞り込むと不利益を被る学生が生じることは明らかであった。幸いにも実際に講義を行ってみると、学生のダイレクトメソッドにたいする反応が非常に良かったことから、急遽４級、５級の２つの級について講義、模擬試験を実施することにした。初級クラスについては、例年よりも総体的にレベルが高かったこと、少人数であったことから、こちらもペースを速めることが可能であるとして、２級、３級、４級の３つの級について講義、模擬試験を行った。つまりは、当初の２倍の講義内容を行うことになったことから、我々担当者は講義と模擬試験、採点を同時進行しなければならなくなり、一日中無休でまる５日間の集中講義を乗り切る結果となった。

* 新潟大学国際センター

模擬試験の成績としては、初級レベルでは、３級に全員合格、４級には４名中１人が合格という結果であった。中級レベルでは、４級に全員合格、５級には14名中９名の学生が合格した。これまで半年又は１年の中国留学を経て２月に帰国した学生達が、一様に５級を取得して帰ってきた結果と比較すると、今回の受講生達の半数以上が長期間の留学をせずに既に５級取得の実力を備えたことになり、将来が大いに期待されるところである。

参加者の学年の内訳は１年生が11人、２年生が７人、３年生が１人、４年生が２人という内訳である。

講義終了後に、５級で260～270点代（300点満点60％以上で合格）を取得した学生が数名居たことから、トップクラスの学生には４位まで、先生方から北京大学の記念品が贈られたが、これらの学生は、１年生、２年生、３年生と学年もバラバラで、学部も異なっていた。今回、いつにも増して総体的に成績が良かった背景には、中級クラスの14人中11人の学生が今年度または昨年度のサマーセミナー参加者であったことや、そのうち６名は今年度の秋から北京への留学を予定しているため、全体的なモチベーションが例年以上に高かったことが挙げられる。また、今回は特別に黒龍江大学での留学経験を１年間積んだ学生も含まれていた。本来は、留学を予定するまたは考えている者を対象にしているが、本人の強い希望もあり、聴講を許可したものである。このように、大学での学習歴としては８ヶ月から３年以上、更には留学経験者までと幅が広かったが、奇しくも今回のHSKの模擬試験の結果からは、好成績が大学での中国語科目の履修時間数や長期留学の経験の有無に必ずしも直結していないことが明らかとなった。これが、個人的な学習方法の問題によるものなのか、通常の大学の講義のあり方によるものなのか、ただ、現時点で想定しうるのは日本語を用いる講義形式とダイレクトメソットによる講義との教育内容のバランスの重要性である。この点については別紙に譲り、大きな疑問が残る結果となった。今後、これらの原因を究明すべく追跡調査も行って行きたいと考えている。

２．調査結果

以下、2011年２月14日に実施したアンケートに拠る調査結果である。
（回収されたものについてのみ統計をとっている。）

Ⅰ　あなたご自身についてお伺いします。

質問１．性別をお答えください

男	７人
女	８人

質問２．学年をお答えください。

１年	６人
２年	８人
４年	１人

質問３．新潟大学で所属している学部をお答えください。

教育	２人
人文	４人
法学	３人
経済	３人
理学	１人
農学	２人

質問４．専門の研究分野をお答えください。

学習社会ネットワーク過程	１人
社会科教育	１人
行動科学課程	１人
経営	２人
物理	１人
中国政治	２人
日本経済誌	１人
地域文化課程	１人
生物と化学	１人
農業生産	１人
中国現近代	１人
法学科	１人
回答なし	１人

質問５．中国語の学習暦をお答えください。

８ヶ月	１人
10ヶ月	３人
11ヶ月	２人
１年６ヶ月	１人
１年10ヶ月	２人
１年11ヶ月	２人
１年	２人
２年	２人

質問６．中国への留学経験（留学期間、場所）

2009.8－2009.9	清華大学	１人
2010.7－2010.8	清華大学	６人
2010.8－2010.9	清華大学	１人
2010.2.28－2010.3.20	中原大学	１人
2010.7－2010.8	中原大学	１人

質問７．参加したクラスをお答えください。

初級	10人
中級	５人

質問８．この講座への参加は初めてですか。

はい	12人
いいえ	３人

Ⅱ

質問９．受講動機についてお伺いします。

あなたがこの講座に参加した理由をお答えください。（複数回答可）

(1)	すぐれた指導を受けることが出来ると考えたから	11人
(2)	ダイレクト・メソッド（中国人教師による直説法）で勉強したかったから	13人
(3)	講師の所属に魅力を感じたから	１人
(4)	留学に必要であると考えたから	７人
(5)	知人に勧められたから（具体的に〇をつけてください：教職員・友人・その他）	３人
	友人	１人
(6)	就職に有利であると考えたから	
(7)	自分の学力を試してみたかったから	７人
(8)	その他（自由にお書きください）	

Ⅲ

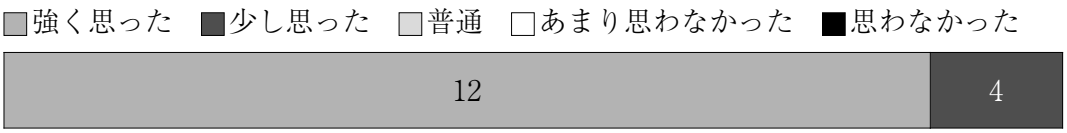
質問10．受講した感想についてお伺いします。

講義あるいは環境等について、どのような印象をお持ちですか？

(1) 講義は面白く、刺激的であった。　（単位：人）

(2) 開講科目のレベルは合っていた。

(3) 教官は熱心であり、その教育内容は高い水準にあった。



(4)　先生は親しみやすかった。

□強く思った　■少し思った　□普通　□あまり思わなかった　■思わなかった

(5)　教室の設備は充実していた。

□強く思った　■少し思った　□普通　□あまり思わなかった　■思わなかった

(6)　人数は適切であった。

□強く思った　■少し思った　□普通　□あまり思わなかった　■思わなかった

(7)　模擬試験は受けてよかった。

□強く思った　■少し思った　□普通　□あまり思わなかった　■思わなかった

(8)　進行速度は適切であった。

□はやすぎた　■少しはやかった　□適切　□少し遅かった　■遅すぎた

(9)　開講時期は適切であった。

□はやすぎた　■少しはやかった　□適切　□少し遅かった　■遅すぎた

質問11.　開講時期が適切でないと思う方は、希望の時期をお書きください。

9月　　1人

質問12.　教育に関することで、お気付きになられたことがあればお書きください。

・中国語の授業は刺激的であった。

授業内容以外の問題で、お気付きになられたことがあればお書きください。

・テストと授業ではヒアリングの聞き取りやすさが違った。

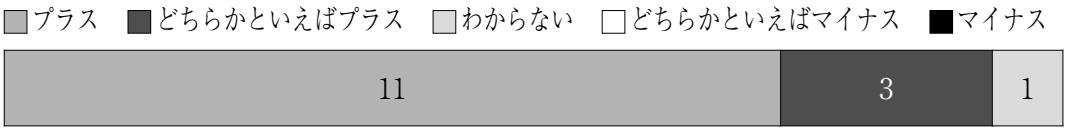
・教室が寒かった。

Ⅳ

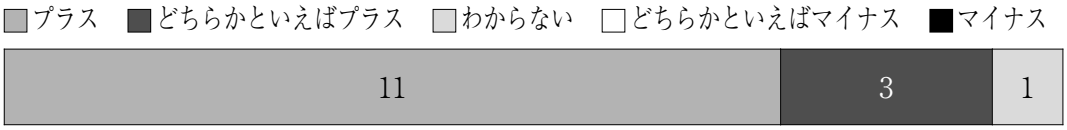
質問13. 今回の講座での勉強がプラスになっているかお伺いします。
この講座は、あなたにとってプラスになりましたか？

(1) 授業全般に関して　（単位：人）

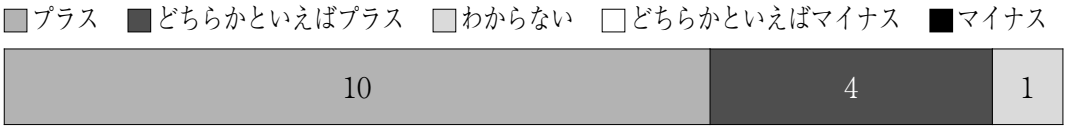
(2) 聞き取りに関して



(3) 受験対策に関して



(4) 将来的な展望に関して



質問14.「プラスになっている…５」「どちらかといえばプラスになっている…４」と回答された方に伺います。
特に役に立ったものは何ですか？具体的に書いてください。

・語彙方面で特にプラスになった。
・作文の所で、添削して点数として自分の現状を確認できたこと。
・中国語で中国語の授業を受けることができたため、そのことばの直接的な意味が伝わってきた。またリスニング力も少なからずついたと思う。
・中国語での授業
・問題形成や対策について詳しく説明してくれて、受験対策に役に立つと思います。
・今の自分の課題が強く意識できた。
・聞き取り：毎日一日中中国語を聴いていたので、最終日には殆ど聞き取れるようになったから。
・ダイレクト・メゾットであること。
・ネイティブの先生との会話とリスニング。
・授業を全て中国語で行っていたので、リスニングが特に良い練習になったと思います。
・HSKの形式のテストがあり、現在の点数を知ることができて有用であった。

・日本語を使わない授業

・短期集中で中国語漬けになったので、HSK本試験にむけてヒアリングのレベルが上がったと思う。生徒のレベルに合わせながらも少し早いスピードでお話しして下さったので、日々慣れてきて少しずつ伸びることができた。新HSKの傾向を知ることができた。

質問15. プラスにならなかった理由はどんな点になるとお考えですか？（該当する回答なし）

質問16. 今後このような講座があれば、また参加したいと思いますか？

はい	15人
いいえ	０人

質問17. いいえと答えた方は、その理由をお答えください。（該当する回答なし）

質問18. 授業実施形態は、このような「集中講義」と「通常授業」のどちらの方を希望しますか？

集中講義	８人
通常授業	７人

Ⅴ

質問19. 今後の希望について伺います。

このような留学や語学に関することで新潟大学で行って欲しいことなどはありますか？

(1)	HSKやTOEIC対策講座など、語学の準備講座	５人
(2)	ネイティブ（中国語話者）による授業	14人
(3)	留学先に関する政治、経済など、幅広い情報を含む準備講座	３人
(4)	留学用のガイダンスや説明会	０人
(5)	留学経験者による講演会	３人
(6)	その他	１人

質問20. 今後HSKの試験を受験する予定がありますか？受験する場合は、何級を受験したいですか？

(1)	はい	11人
	６級	１人
	５級	５人
	４級	５人
	３級	２人
(2)	いいえ	４人

質問21. 今後の留学を希望していますか？

(1)	はい	８人
(2)	いいえ	５人
	無回答	２人

質問22. はいと答えた方は、時期と留学期間（予定）をお答えください。

時期

2011.9～　　5人

2010.3～　　1人

留学期間

⑴　6ヶ月未満　　3人

⑵　6ヶ月以上1年未満　　2人

⑶　1年以上2年未満　　3人

⑷　それ以上　　0人

質問23. 今回の講座を振り返って、特にメッセージがあれば、自由にお書きください。
また、本アンケート調査に対するご意見、ご感想がありましたらお書きください。

・贅沢な授業を有り難うございました。留学をもっと勧められると思っていたのですが、そのプレッシャーはなく、有り難かったです。

・授業中は全部中国語で行われたのですが、とても教え方が良くてわかりやすかったです。

・銭先生の授業は聞き取りやすく、わかりやすかったです。留学する予定はありませんが、仕事やプライベートで学んだことを役立てたいです。

・中国語漬けの日々を送ることができてよい機会だった。

・ネイティブの授業を受けたことがなかったので、やっぱり初めてということもあり、頭がいっぱいいっぱいで着いていくのが大変でした。でもやっぱいネイティブの授業の方が中国語の学習が上達するなと思いました。

・自分ではなかなか難しい聴解の練習をたくさんでき、とてもためになりました。この講義が刺激となって、中国語学習に対する意欲が高まりました。またこのような講義があったら是非参加したいです。